## 令和 1 年度 事務事業評価シート

## 事務事業の概要・計画(PLAN)

事務事業名	総合計画等推進事業	会計名称				_	一般会計		担当課		今和 7 年度(予定		
<b>学</b> 物学未有	松口可四守住还尹未	予算科目	2	款 1	項 7	目	事業番号	201	所属長名		空岡直	裕	
事業評価の有無	□評価対象事業	担当責任者名	岡井隆治										
法令根拠等	第2次総合計画	次総合計画 【開始】									令和/平成 2	8 年度	
総合計画での	参画協働推進都市の創造								実 施 期 間	【終了】	令和 ′	7 年度(予定)	
位置付け	効率的で透明性の高い行財政運営											設定なし	
総合計画における 本事業の役割	<mark>合計画における</mark> 本事業の役割 将来像である「まち・ひと ともに育ち輝く伊予市」の実現に向け、総合計画の効果的・効率的に推進していくためには必要な事業である。												
事業の対象	第2次総合計画掲載施策及び事務事業 事業 <b>の目的</b> 第2次総合計画に掲げる3つの未来戦略・5つの基本目標・24の基本施策の努 的実施、適切な進捗管理に努める。												
事業の内容 (整備内容)	総合計画実施計画の策定、市民計議会の開催、周知啓発資料の作成、成果目標の達 成度確認など デ価事業としない こととした理由 満会を開催する。 今年度は予算の都合上、市民計議会の開催を見送ったことから、明確な指標がご られない。次年度は総合計画後期計画策定に向け、市民計議会及び総合計画策算 議会を開催する。											確な指標が立て 総合計画策定審	

## 事業活動の内容・成果 (DO)

			事	¥	Ė	費	<b>支</b> て	ŗ.	財源	原	内	訳	( =	千 円	)				事	業	活	動	の 🧃	実 績	(	活 動	指	標	)	
	IJ	Į.			目	前年	度決算	当初	予算額	補正	予算額	継続費	その他	翌年度終	<b>喿越</b>	決算額	į		項	目		単位	立前	年度実績	1	年度予定	9月5	末の実績	1	年度実績
Ī	Ī	接	事	業	費		633		61		C	)	0		0		54													
		玉	庫	支出	金		0		0		C	)	0		0		0	市民討談	義会開催	崖回数		口	I	1		0		0		0
則		県	支	出	金		0		0		C	)	0		0		0													
源内		地		方	債		0		0		0	)	0		0		0													
訴		そ		の	他		0		0		C	)	0		0		0	市民等詞	義会参力	1者数		人		42	:	0		0		0
		_	般	財	源		633		61		0	)	0		0		54													
用	战員(	の人	エ(	にん	く)数		0.20		0.20							0	. 10													
1.	人工	当た	りの	)人件	費単価	<b>6</b>	7, 982		7, 992							7,	992													
>	( į	直接	事業	費+	人件費		2, 229		1,659								853													
		主な	実別	拖主体	τ.	直接到	<b></b> 毛施			実施飛理料・	が を託料	献助金・持 事の記述	指定管 載欄)	なし																
	向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)								2	年度		3 4	丰度		4 年	度	Į	5 年度		6 年	度	5年	間の合	計						
										1, 130			800			800		800		1	, 200			4, 730						

## 事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任 者)	事業の成果	今年度は、施策評価に伴う総合計画の進捗状況把握にとどまった。市民討議会の開催による幅広い意見の収集や有識者らによる後期計画に向けて次年度の早い段階から準備を進める。 毎年協力している大学から市民討議会に関する聞き取り調査(市防災担当者、市議会議員)があり協力した。議員から市民討議会の必要性の言及があった。							
		■ 事業継続と判断する。							
一次判定	事業の 方向性	□ 事業縮小と判断する	判断の理由	担当者判断のとおりとする。					
		□ 事業廃止と判断する							

	■ 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進
		に努め、今年度の事務事業評価シートに 反映させること。
- vt and <del>t</del>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
二次判定		
	□ 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
	□ 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
	□ 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	
	答申の内容	
行政評価委員会の答申 外 部 評 価		
77 87 87 16		
今後の方向性 (ACTION)		
/ DOSYSTATE (NETTON)	事業の方向性コメント欄	
	□ さらに重点化する。	
∅⇔≠△;≠	見状のまま継続する。	
経営者会議 の最終判断	見直しの上、継続する。	
	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	